

平成 24 年度 第 1 回長崎県がん診療連携拠点病院研修会
(アンケート調査結果)

開催日 平成 24 年 4 月 16 日 (月)

時 間 18 : 45 ~ 20 : 45

場 所 長崎大学医学部 良順会館 2 階ボードインホール

出席者 79 名 回答者 62 名

出席者の内訳

施設名 職名 総数		大学病院	和 仁 会 病院	井上病院	健保 諫 早 総合病院	市民病院	他 施 設
		医師	26 名	13 名	1 名	0 名	3 名
歯科医師	3 名	3 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
薬剤師	28 名	26 名	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名
看護師	9 名	5 名	1 名	3 名	0 名	0 名	0 名
放射線技師	3 名	0 名	0 名	0 名	3 名	0 名	0 名
その他	10 名	7 名	0 名	2 名	0 名	1 名	0 名

～今回の講演の内容について～

① よかったところ

- ・講演の内容に非常に興味を持てた。特に、臨床における薬剤師の意見と基礎的な話もあり良かったと思います。(医師)
- ・最新の行政の方向や薬剤の知識が増えて良かったです。(医師)
- ・漢方薬と抗がん剤の併用。()
- ・内容が分かりやすかった。(看護師)
- ・APAP について詳しく分かりました。()
- ・最新の情報と臨床の話とのバランスがよかった (医師)
- ・宮永先生立派でした！とても分かりやすかったです。(薬剤師)
- ・アセトアミノフェンの現在分かっている作用を学ぶことが出来たため、今後の調剤に役立てていきたい。(薬剤師)
- ・あまり学べない基礎について教えて頂いたので非常に勉強になった。(薬剤師)
- ・アセトアミノフェンの基礎から臨床まで幅広く学べて良かった。(薬剤師)
- ・入門者にも分かるように基礎からの説明が加えられえいた点。(医師)
- ・がん対策基本法に関して今一度考える機会となり、勉強になった。アセトアミノフェンの問題点(使用上の注意点など)について再確認でき、新たに勉強できて視野が広がった。(臨床心理士)
- ・演者の方のスライドが見やすく、話し方も丁寧で分かりやすかった。(薬剤師)
- ・今後のがん対策の方向性について理解しやすく解説して頂き参考になった。(医師)
- ・臨床の立場からアセトアミノフェンの有用性について語る姿が良かった。基礎研究を行っている私

にとって臨床研究の最新情報は新鮮でためになる。(学生)

- ・アセトアミノフェンと NSAIDs の違いなど非常に分かりやすく講演して頂き有難かった。(理学療法士)
- ・アセトアミノフェンの作用秩序はとても分かりやすく勉強になった。(薬剤師)
- ・使用頻度の高い薬剤に焦点を絞っての講演だったので、ピンポイントで知識が得られた。(看護師)
- ・薬剤師には興味深かった。(薬剤師)
- ・がん対策基本法の施行から 4 年間の成果や問題点、今後の重点項目になる部分が聞けて良かった。(放射線技師)
- ・最後の飯田先生の挨拶がよかった。(看護師)

② 気になったところ

- ・スライドが見にくかった。()
- ・年齢、がん進行度と薬剤量の関係。()
- ・特別講演が詳しすぎたのと、言葉が不明瞭で分かりにくかった。もっと簡潔明快な話が聞きたかった。英文多用しすぎ。(医師)
- ・マイクの音量。(医師)
- ・アセトアミノフェンについては作用秩序がまだまだ不明な点が多い。(歯科医師)
- ・内容が専門的すぎて難しかった。(看護師)
- ・5HT 阻害薬との併用でアセトアミノフェンの効果が下がるとの事でしたが、緩和ケアで最適な用法・用量の検討はされてないのですか？(薬剤師)
- ・がんの研究会なのに、ガンの痛み注目しアセトアミノフェンを取り上げた理由が分からなかった。がんそのものの研究についても知りたかった。(学生)
- ・本によっては、アセトアミノフェン=NSAIDs と書いてあること。まだはっきりとは解明されていないのですね。(研修医)
- ・ターゲットがやや薬剤師よりかと思われる点。(医師)
- ・演者の内容が少し重なったところ。(薬剤師)
- ・作用秩序の詳細は臨床の先生にとって有益だったのか…(薬剤師)
- ・「えーっと」が多い。(薬剤師)
- ・P-aminophenol iv とかで鎮痛効果は有るのでしょうか？(医師)

③ 講演に対する要望

- ・薬剤と作用メカニズムを分かりやすく説明願いたい。(看護師)
- ・薬剤師や臨床心理士といったコメディカルの働きについて。(臨床心理士)
- ・小児がんの人たちへの対応や、今後の働き、現在の状況などに関する演題。(臨床心理士)
- ・メモが大変なので、配布資料があると嬉しい。(医師)
- ・もっとスライドを見やすく作って欲しい。()
- ・臨床に向けて説明して欲しい。(医師)
- ・臨床面をもう少し欲しい。(医師)

- ・勉強不足ですので、アセトアミノフェンの作用秩序の英語の論文のスライドを次々と見せられるとついていけなくなりました。もう少しまとめて頂けたらと思いました。(医師)
- ・今回の講演の作用秩序の“研究の続き”の講演が聞きたいです。(薬剤師)
- ・会場が寒かったです。(研修医)
- ・リハビリ観点からの講演も今後は開いて頂ければ嬉しく思います。(理学療法士)
- ・がん診療における最新情報を聞きたい。(看護師)
- ・六君子湯の所をもっと聞きたかった。(薬剤師)
- ・基礎から臨床の創薬など、一貫した話題を聴講したい。トランスレーショナルリサーチなど。(薬剤師)
- ・このような研修会を複数回行うことで、総合的な知識に繋がるのではないかと思う。(看護師)
- ・がん種別の連携の問題などが知りたい。(薬剤師)

次回の講演で希望すること

- ・夕方の講演は他病院からでも参加出来るので助かりますが、講演時間が長いと集中して聴けません。1～1時間半程度の講演だと集中力が持ちます。(臨床心理士)
- ・がん患者とその家族のメンタルケア、浮腫に対してのマッサージ。(看護師)
- ・がん緩和における食欲不振、倦怠感、ADL低下等に対する内容、院外（在宅）での緩和について。(医師)
- ・開会、閉会の辞は簡単にして下さい。(医師)
- ・パワーポイントの内容と要点をプリントして欲しい。(医師)
- ・時間帯は今のままでいいです。仕事が終わってから参加します。
- ・リハビリに関する事、リンパ浮腫、ADLやQOL向上について。(作業療法士)
- ・10分休憩が1回あるといいと思います。(薬剤師)
- ・今回よりも広い場所で、大勢の人が話を聞ければいいと思います。(学生)
- ・小児への投与方法について。(薬剤師)
- ・整形外科の分野でNSAIDsの使い分けなど。(薬剤師)
- ・長崎大学で開催されるとアクセスも良く、行きやすいです。
- ・金曜の夜に開催して欲しいです。
- ・このような機会をまた作って下さい。

がん診療センターに対する要望

- ・準備などお疲れ様でした。今後とも参加させて頂きたいです。(臨床心理士)
- ・県内のがん緩和が独立して行われているようなので、連携（情報交換）の中心となって欲しいです。(医師)